



株主通信

第 **108** 期

第 2 四 半 期

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

 昭和飛行機工業株式会社  
証券コード 7404

## ■ トップメッセージ



昭和の森いちょう並木にて撮影（平成23年11月）

蓄積された技術の活用と地域開発を通じて、豊かな社会・生活・文化の創造に貢献します。

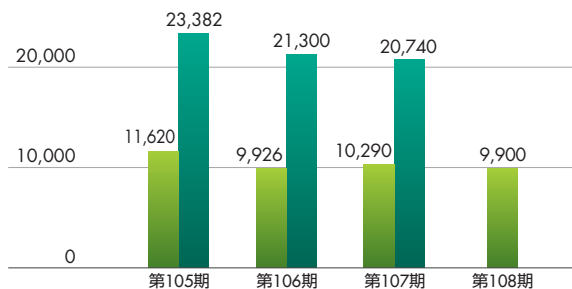
株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第108期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

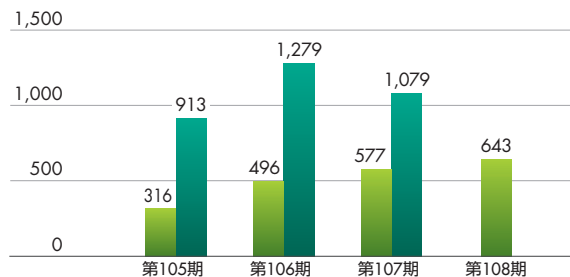
代表取締役社長 さかまきさぶろう  
**酒巻三郎**

## ■ 財務ハイライト

● 売上高 ■ 第2Q ■ 期末 (百万円)



● 営業利益 ■ 第2Q ■ 期末 (百万円)



## 当社グループの状況について

**当** 第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で急激に落ち込んだ経済活動水準が持ち直す動きがありましたが、期間後半には円高が進行し、景気の下振れが懸念される局面となりました。

このような事業環境のもと、当第2四半期の連結業績は、売上高99億円（前年同期比3.8%減）、営業利益6億43百万円（前年同期比11.6%増）、経常利益4億57百万円（前年同期比28.4%増）、四半期純利益2億64百万円（前年同期比228.0%増）となりました。

## 通期の見通し

**通** 期の連結業績予想につきましては、先行き不透明な経済状況が続くと予想されるため、当初の

予定を据え置き、売上高215億円、営業利益11億円、経常利益6億50百万円、当期純利益3億円を見込んでおります。

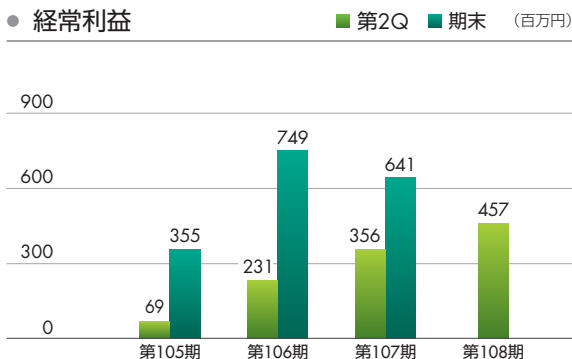
## 株主のみなさまへの利益還元について

**当** 社は、継続的な企業価値の向上による適切な利益還元を重要な経営課題の一つと考え、長期的に安定配当を維持することを基本とし、業績動向等も勘案の上、配当を行う方針としております。

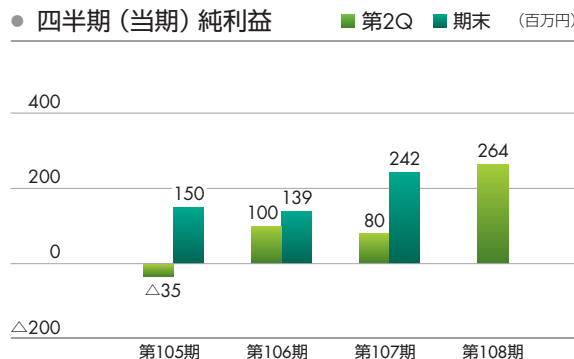
当期の中間配当に関しましては、業績と経営環境を総合的に勘案し、1株につき3円とさせていただきます。なお、期末配当は1株につき3円、合わせて1株につき6円の年間配当を予定しております。

今後とも株主のみなさまにおかれましては、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 経常利益



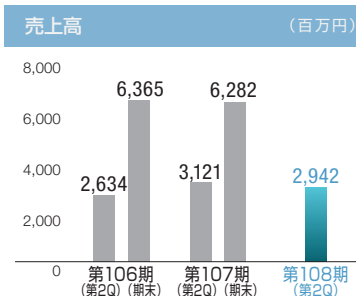
● 四半期(当期)純利益



## セグメント別営業概況

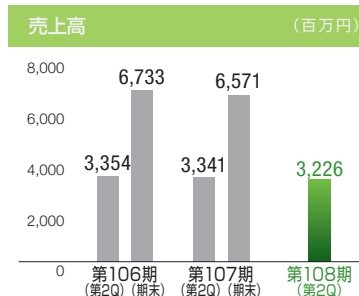
### 輸送用機器関連事業

タンクローリー及びバルク車等の特殊車両関係の受注は好調でありましたが、一部の工事が下期にずれ込んだ影響で、売上高は前年同期比5.8%の減収、セグメント損益は4億68百万円の損失(前年同期3億73百万円の損失)となりました。



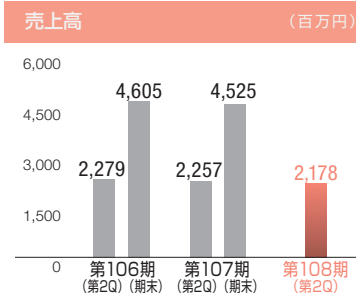
### 不動産賃貸事業

商業施設において、東日本大震災後の消費の手控えや賃貸料の減少により、売上高は前年同期比3.5%の減収となりましたが、施設管理コスト削減効果もありセグメント損益は11億43百万円の利益と前年同期比7百万円、0.6%の増益となりました。



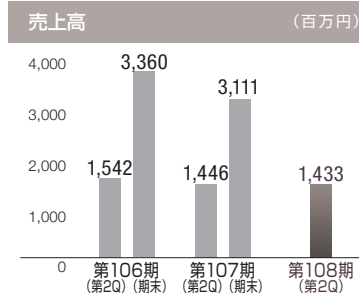
### ホテル・スポーツ・レジャー事業

ホテルの婚礼宴会やスポーツ施設は、東日本大震災後の影響もあって来客数が減少し、売上高は前年同期比3.5%の減収、セグメント損益は1億14百万円の損失(前年同期1億28百万円の損失)となりました。



### 物販事業

主力の業務用サウナ事業や暖炉事業は低迷しましたが、福祉・介護事業が好調であったため、売上高は前年同期比0.9%の減収にとどまり、セグメント損益は1百万円の損失(前年同期49百万円の損失)となりました。



### その他

売上高は、1億20百万円と前年同期比7百万円、6.4%の増収となり、セグメント損益は11百万円の利益と前年同期比3百万円、24.5%の減益となりました。

## 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	11,651	13,526
固定資産	46,253	46,736
有形固定資産	42,130	42,905
無形固定資産	322	313
投資その他の資産	3,800	3,517
<b>→① 資産合計</b>	<b>57,905</b>	<b>60,263</b>
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	10,804	11,967
固定負債	22,476	23,423
<b>→② 負債合計</b>	<b>33,280</b>	<b>35,391</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
株 主 資 本	24,189	24,026
資 本 金	4,949	4,949
資 本 剰 余 金	7,648	7,648
利 益 剰 余 金	12,336	12,170
自 己 株 式	△ 745	△ 743
その他の包括利益 累 計 額	435	845
その他有価証券評価差額金	435	847
為替換算調整勘定	—	△ 1
<b>→③ 純資産合計</b>	<b>24,625</b>	<b>24,871</b>
負債及び純資産合計	57,905	60,263

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
<b>→④ 売上高</b>	<b>9,900</b>	<b>10,290</b>
売上原価	7,184	7,757
売上総利益	2,716	2,532
販売費及び一般管理費	2,072	1,955
<b>→⑤ 営業利益</b>	<b>643</b>	<b>577</b>
営業外収益	71	99
営業外費用	258	320
経常利益	457	356
特別利益	20	9
特別損失	59	156
税金等調整前四半期純利益	418	208
法人税、住民税及び事業税	174	191
法人税等調整額	△ 20	△ 63
少数株主損益調整前四半期純利益	264	80
<b>→⑥ 四半期純利益</b>	<b>264</b>	<b>80</b>

### 連結財務諸表のポイント

- ① 資産の部** 受注好調により仕掛品が増加した一方で、借入金の返済や有形固定資産の減価償却による減少などで、総資産は減少しました。
- ② 負債の部** 借入金の返済による有利子負債の減少などで、負債も減少しました。
- ③ 純資産の部** 利益剰余金が増加した一方で、所有株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少により、純資産は減少しました。
- ④ 売上高** 輸送用機器関連事業の出荷の第3四半期以降へのずれ込みや不動産賃貸事業の賃貸料収入減少などにより、売上高は減少しました。
- ⑤ 営業利益** 売上高の減少がありましたが、施設管理コスト等の経費削減効果により、営業利益は増加しました。
- ⑥ 四半期純利益** 営業利益の増加のほか、支払利息や固定資産除売却損の減少などにより、四半期純利益は増加しました。



## ハニカムパネル製ホームドア(可動式ホーム柵)の受注

駅ホームからの転落や列車との接触事故防止等を目的とした安全対策の一つである「ホームドア」に弊社製アルミハニカムパネルが採用されています。ハニカムパネルの持つ「軽量高剛性」「平滑性」等の特性を生かした用途で、現在は、九州新幹線、地下鉄有楽町線などの路線に設置されています。



## 24KL超短尺アルミタンクセミトレーラーの販売に注力

昨年夏にモデルチェンジを実施した、24KL超短尺アルミタンクセミトレーラーの販売が好調に推移しております。



これまで主力機種であった20KLトレーラーとほぼ同等の寸法で24KLの配送が可能となり、運送の効率アップが図れる点が、ユーザーや石油元売り各社に評価され、全国で導入が促進されております。今年度後半も、さらに受注を伸ばすよう、販売活動を継続中です。

## 昭和の森に国内屈指のいちよう並木誕生

平成23年8月8日、総延長400mを超える国内屈指のいちよう並木が誕生し、モリタウンとフォレスト・イン 昭和館を繋ぎました。

いちよう並木は幅員14mの歩行者専用道となっており、ヒートアイランド現象の緩和に効果がある保水性舗装やLEDの街路灯など、環境に配慮した仕様となっております。ゆっくり歩いて四季の移ろいを楽しんで頂けるほか、イベント開催も予定しており、多くの来街者が見込まれます。昭島・東京の新たなシンボルとして、皆様に広く愛されるいちよう並木を目指してまいります。





# 昭和飛行機のあゆみ

## 不動産事業

当社はJR昭島駅北側に約40万坪に及ぶ広大な敷地を有しており、この開発による不動産賃貸・サービス事業が、永年培った輸送用機器の製造と並ぶ当社の事業の柱となっています。

もともと当社は昭和12年に航空機の製造を目的に設立され、主力のダグラスDC-3型機430機を始め、約700機を終戦までに製造しました。

終戦後はすぐにアメリカ軍に接収され、航空機や特殊車両の修理等に携わり、本来の企業活動の一時中断を余議なくされました。

ようやく昭和48年に社有地が全面返還となりましたが、その際、アメリカ軍関係のゴルフ場となっていた部分をそのまま引き継ぎ、子会社を通じて営業を開始したのが現在の昭和の森ゴルフコースで、当社の不動産事業の第一歩です。

その後、わが国経済の発展とともに地元昭島市や周辺地域から当社の社有地の開発を望む声が高まり、昭和50年に当時の日本住宅公団から当社社有地の一部に大型集合住宅建設計画が出されたのが契機となり、当社としても資産の有効活用を図るため、商業・業務・スポーツなどの複合施設からなる「昭和の森」構想をまとめました。当社の不動産事業の本格的な始まりです。

開発には、駅や駅前ロータリーの整備などインフラの整備が図られるとともに近接して大型の団地が建設され、美しい街並みに変容をとげてきました。

現在昭島駅北口周辺には、当社の大型ショッピングセンター「モリタウン」を始め商業施設や賃貸施設、ホテル、スポーツ・レジャー施設が広がっており、一企業としては例を見ないユニークで秩序ある街づくりが進んでいます。



米軍接収当時の当社社有地（昭和30年代撮影）



当社社有地全景（平成23年撮影）

## 会社概要 (平成23年9月30日現在)

社名	昭和飛行機工業株式会社 Showa Aircraft Industry Co.,Ltd.
本社・工場 設立年月日	〒196-8522 東京都昭島市田中町600番地 昭和12年6月5日
資本金	4,949百万円
主要な事業内容	特装車及び生活支援機器の製造・販売 航空支援機器及び軽合金構造物の製造・販売 ハニカムコア等の製造・販売 不動産の賃貸
従業員数	386名(グループ従業員数 806名)
営業所・支社	仙台営業所、中部営業所(名古屋)、 関西営業所(大阪)、広島営業所、成田工場
昭和飛行機 グループ	昭和の森総合サービス(株) 昭和飛行機テクノサービス(株) アーバンリゾート昭和の森(株) 昭和の森エリアサービス(株) ハーレーダビッドソン昭和の森(株) 昭和飛行機ビジネスコンサルタント(株) メトス SHOWA AIRCRAFT USA INC.

## 役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役 社長	さかまき きさぶろう 酒巻 三郎	常任監査役	みうら としお 三浦 敏夫
常務取締役	もりや ただし 守屋 正	監査役	まき たもつ 牧 保
常務取締役	しらかみ ひろあき 白上 廣昭	監査役	いづの しゅういち 猪野 修一
取締役	ふくもち かつの すけ 福持 克之助	監査役	はりが や ひろし 針ヶ谷 博
取締役	やすまさ やすまさ 長村 安正		
取締役	ひらはた ふみおき 平畑 文興		
取締役	にしはた あきら 西畑 彰		

- (注) 1. 取締役平畑文興氏及び西畑彰氏は社外取締役であります。  
2. 監査役牧保氏及び針ヶ谷博氏は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年6月下旬 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告(予備的公告方法は日本経済新聞) 公告掲載アドレス <a href="http://www.showa-aircraft.co.jp/">http://www.showa-aircraft.co.jp/</a>
株主名簿管理人 (※1)	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならび に日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行って おります。(※2)

## 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	33,606,132株
株主数	3,166名

## 大株主

株主名	所有株式数 株	持株比率
		%
三井造船株式会社	5,131,793	15.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット 信託銀行再信託分・三井造船株式会社退職給付信託口)	5,131,000	15.27
株式会社三井住友銀行	1,556,650	4.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託 銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメント株式会社信託口)	1,329,000	3.95
ジェーピー モルガン チェース バンク 380084	1,287,838	3.83
クレディ スイス ルクセンブルグ エスイー オン ビーフ オブ クライアンツ	1,200,000	3.57
クレディ スイス セキュリティーズ(ヨーロッパ) リミテッド ピービー セック イント ノン ティーアールクライアント	840,000	2.50
野村ホールディングス株式会社	834,000	2.48
室町建物株式会社	810,000	2.41
フォスター電機株式会社	555,000	1.65

## 所有者別分布状況



(お知らせ)

(※1) 当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(住所、電話番号の変更はございません)

(※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

